

雨水出水浸水想定区域図に関するQ&A 集

番号	Q：質問	A：回答
1	雨水出水浸水想定区域とは何か？	想定し得る最大規模の降雨により、下水道等（都市下水路）の排水能力を超える内水氾濫が発生した場合に、浸水が想定される範囲や深さを示した区域です。
2	想定最大規模降雨とは何か？	想定最大規模降雨は、国土交通省が作成した設定手法に基づいて決定しています。 近江八幡市では平成24年8月18日に発生した時間最大雨量65mmをもとに、地域ごとに定められた最大降雨量となるよう引き伸ばして作成したもので、1時間最大降雨量は147mmになります。これは1000年に1回発生する確率の雨量です。
3	内水氾濫とは何か？	内水と外水（洪水）の違いについて 内水氾濫：降った雨をスムーズに河川へ排水しきれなくなって、下水道や水路（側溝）から水があふれることです。 外水氾濫：河川水位の上昇や堤防の決壊によって、河川から水があふれることです。
4	想定最大降雨量147mmはどれぐらいの雨か？	想定最大降雨量147mmは、対象区域で観測した1時間当たりの最大降雨量 65mm（平成24年8月18日の集中豪雨）の約2.3倍になります。 ※雨量が1時間当たり50mmを超えると傘をさしても歩くことは困難になり、車の運転が危険なレベルとなります。
5	なぜ区域の指定、公表が必要なのか？	令和3年7月に改正された水防法により、下水道による浸水対策を行う全ての団体が雨水出水浸水想定区域の指定対象になり、同法第14条の2第2項の規定に基づき区域の指定を行い、同法第14条の2第4項の規定に基づき公表するものです。 この区域図は、既存の排水施設で雨水を排除できないことで発生する浸水被害を想定したもので、浸水リスクの高い地区を明らかにし、市民の皆様の雨水出水時における円滑で迅速な避難や浸水防止、被害の軽減を図っていただくものです。
6	下水道で雨水排水を行っているのか？	公共下水道事業には汚水と雨水があります。 近江八幡市は分流式（汚水と雨水を分離）になっており、雨水は側溝などから都市下水路等に流れ、河川へ放流されています。 公共下水道管路は汚水のみ排水しています。
7	雨水出水浸水想定区域図は何をもとに作成したのですか？	内水浸水想定区域図作成マニュアル(案)（令和3年7月 国土交通省発行）に基づいて作成しています。

8	浸水区分は何をもとに決められているのか？	<p>浸水深の表示は、内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）に記載のランク分けを基に表示しています。</p> <p>浸水深の目安は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0.3m：大人の膝の高さに相当する浸水深。 0.5m：1階床高に相当する浸水深。 1.0m：1階床高より+50cmに相当する浸水深。
9	雨水出水浸水想定区域はこの区域だけか？	下水道全体計画区域（雨水）に指定されている区域のみでのシミュレーションとなっております。
10	これ以外の区域の想定図は作成しないのか？	下水道全体計画区域（雨水）に指定されている区域が対象であり、それ以外の区域ではシミュレーションを実施していません。
11	シミュレーションの方法は？	<p>下水道全体計画区域（雨水）に対して想定最大規模降雨（147mm/1時間あたり）が降った場合に「既存の雨水排水施設で流しきれない雨が地表面を流れ窪地にたまる」とした場合の簡易的な手法によるシミュレーションを実施しました。（簡易モデル）</p> <p>シミュレーションは、対象区域を10mのメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。</p>
12	浸水が想定されていない区域では浸水が起こらないのか。	このシミュレーションでは、想定している最大降雨を超える規模の降雨や洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していないので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が異なる場合がありますので、ご注意ください。

